

町長・町議会議員 新年のごあいさつ



期待に応える一年に
スーパータウン大河原の果す役割

大河原町長 齋 清志

新年あけましておめでとうございます。皆さまにはご家族お揃いで、穏やかな初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年の漢字は「北」ということでしたが、国際社会全体が北朝鮮の脅威に対応した1年でした。また、トランプ米大統領の公約や言動に翻弄された年でもあったと感じているところです。国内では文科省を取り巻く「森友・加計」問題や、都議選での都民ファーストの躍進と一転して、解散総選挙での自民党の圧勝が印象的でした。また、北九州北部豪雨などの自然災害が多発したことや、大企業の相次ぐコンプライアンスが問われる事態と、日馬富士の暴行・引退事件など残念な出来事も多かったと受け止めています。

本町にとつては、地方創生につながる新規事業も動き出し、広域連携と本町の持つ特徴（らしさ）を活かす取り組みが実施されました。具体的には、新たな人の流れや賑わい創出のための中央公民館複合化リニューアル事業も始まり、柴田町



との連携による一目千本桜ブランド事業も2年目の本格的な取り組みとなりました。懸案だった給食センター建設事業へも着手の運びとなり、「絵本と学びのへや」の復活は予想を越える反響と期待を呼び込むホットなニュースとなりました。ソフト面での取り組みとしては、高齢者の高い健康意識をアピールしながら、助け合いや支え合いの仕組みづくりに向けて地域包括ケア体制の整備に努めてきました。また、保育環境の改善策として民間施設への支援を強化してきたところです。さらに、教育のブランド化に向けた積極的な投資や、桜の木の保護や延命化対策を通して桜を誇りに思う住民意識の醸成にも力を注いでまいりました。

そして今年、いよいよこれらの事業の進展状況を町民の皆さまの目に見える形で、実現を図っていく年となるはずです。10年先の本町を見据えた「第6次長期総合計画」のなかでは、①町民自治・住民主権。②生命と安全を守る。③大河

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、清々しい新年をお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。今年1年、災害もなく平穏で有意義な1年になりますことをご祈念申し上げます。また大河原町議会に対しまして、常日頃より多大なご理解とご協力を賜りまして厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、将棋界におきましては、藤井聡太四段が30年振りに連勝記録を塗り替えて29連勝を達成いたしました。しかも、プロデビュー直後からの大偉業です。さらに、羽生善治棋聖が12月の竜王戦7番勝負を4勝1敗で勝利し、史上初の永世7冠の栄誉に輝かれました。このことは、将棋ファンのみならず、多くの人に感動を与えてくれた出来事です。

また、男子サッカー日本代表は、8月31日のオーストラリア戦において2対0で勝利し、6大会連続のワールド杯出場を決めました。今年の6月に開催される

原町らしい人口減少への挑戦。を掲げ、先進の地域づくりによる本町らしい活力に満ちたまちづくりを進めてまいります。

広域的な取り組みでは、地域医療が求める大きな役割を担うために、中核・刈田のさらなる医療機能の分化と集約化を図りながら、将来の再編・ネットワーク化に向けた議論を本格的に進めてまいります。さらに、白石川河川敷活用計画の事業としての熟度が高まるなかで、自転車活用推進法や地方創生関連事業との相乗効果も大いに期待されることとなり、この事業が広域的な観光施策にプラス要素となる可能性が広がっています。

仙南の真ん中であつて、その中心性拠点性・利便性を広域連携のステージでこそ活かしながら、スーパータウン大河原としての高いポテンシャルを存分に発揮することが求められていると考えています。本町が担うこの広域的な役割をご理解いただき、町民の皆さまの大きな後押しを切にお願い申し上げます。

結びに、皆さまのご健勝とご多幸を祈念いたしますと共に、本町にとりましても期待に込める希望に満ちた1年となることを願って、新年のご挨拶とさせていただきます。

遭い、地域の住民生活や経済活動は重大な影響を受けました。自然災害に対しての備えの重要性を再認識したところであります。

我が国においては、急速な少子高齢化、本格的な人口減少社会が到来し、町村の基幹産業である農林水産業の低迷や若年人口の減少により、地域経済は衰退の入口に立つております。現在、町村では創意工夫を活かした施策を盛り込んだ総合戦略等に基づいて、住民と一体になって本格的な事業展開に取り組んでいるところであり、地方創生をさらに深化させるためにも、その流れを加速させなければなりません。このことを踏まえて、11月22日の町村議会議長全国大会では、地方創生の更なる推進の特別決議がなされました。

さらに、地域の課題を解決するための施策を町と議会が対等な立場でしっかりと議論していくことが、大河原町の地方創生へ繋がっていくものと信じております。

おわりに、皆さまにおかれましては、本年が充実した1年となりますことを重ねてご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



人口減少社会における
地方創生の推進を目指して

大河原町議会議長 佐藤 貴久

